

資源の問題 レア・アース

開倫塾
林 明夫

資源は人々の生活や産業を支える大切なものであるため、入学試験の問題としてよく出題されます。

今話題となっているレア・アースは、人々の生活の上で欠かすことのできないものとなってきた携帯電話や、これからの自動車として人気のハイブリッド車の生産に欠かせないものとして、関心を呼んでいます。

その生産の 97 %を中国が占め、日本への輸出だけを制限し始めたのですから、日本にとっては大問題と言えます。

なぜこのようなことになったのかを考えることも大事です。日本と中国の関係をこれからどのように築いたらよいかも考えましょうね。

また、レア・アースに代わるものをどうするかを考えることも、これからの日本を考える上で大切です。

中国はめきめき力をつけ、アメリカに次ぎ世界第 2 位と言われるほど経済活動が盛んになってきましたから、これから中国がどのような行動をとるようになるのかに、世界中が関心を持ち始めました。

このレアメタルの日本への輸出制限のように、中国の行動が今までと少しでも異なると、日本の経済活動に大きく影響が及ぶからです。

超大国になりつつある中国から目が離せない時代に入ったと言えます。

* 9 月に中国の天津に行ったときサマー・ダボスに経済同友会代表として参加のために、天津から北京までの高速鉄道に乗りました。120 kmの距離を最高時速 328 kmで走り、30 分で結んでいました。横揺れもほとんどなく、58 円で、満席でした。

以上

- 2010 年 10 月 7 日林明夫記 -